

コロナ禍や自然災害で疲れ気味の日本列島、それでも新酒の仕込みは始まっている。
 例年どおり、多くの困難な気象条件を乗り越えてたどり着く収穫、仕込み。
 新酒やカジュアルワインも、時が磨きをかける年代物のワインも、
 それぞれに食を豊かにし、心身を癒やしてくれるだろう。Enjoy your wine life!

ヴィノテーク

ワイン・バイイング・ガイド

田崎 真也 セレクション Vol. 167

Vinothèque WINE BUYING GUIDE SELECT AND COMMENT BY Shinya TASAKI

Photo by
Kazuyuki TAKAHASHI



TASAKI'S POINT!

フレイヴァーをしっかりと含む
 余韻の長さにも注目した。

18 /20

リード・ロイベンベルク・リースリング・
 スマラクト、テゲルンゼアホーフ

Ried Loibenberg Riesling Smaragd 2017 Wachau
 Tegernseerhof

AUT 13% Ⓢ

ヴァッハウ /
 リースリング /
 6600円

飯田
 ☎ 072-923-6244



1002年に神聖ローマ帝国の皇帝ハインリッヒ2世から12haの土地を拝領したのが始まりという。現在はミッテルバッハ家が所有、5代目のマルティン・ミッテルバッハは自社クローンからのマサル・セレクションに力を入れ、品種とテロワールの個性を重視するスタイルの進化を目指しているという。ロイベンベルクは標高213~396m、1ha弱の単一畑で、黄土を含む片麻岩土壌、樹齢は30から40年。ステンレスタンクにて野生酵母による発酵(MLF含む)後、12カ月間熟成。色調はグリーンを含む明るいイエロー。香りは芳醇かつ華やかで、レモンやグレープフルーツ、かりんなどのコンポートのような果実香に、菩提樹の花、ペトロールを含むミネラル、蜜燭などの香りが調和。まろやかでふくよかな果実味から、しっかりとした酸味がシャープさを含みつつ広がり、その印象が余韻にも長く感じられる。



ヴィノテーク No.488



V737